

支部社協紹介

今号では南に霊峰石鎚山をはじめとする石鎚山系をひかえ、北は穏やかな瀬戸内海の燧灘を望む氷見支部を紹介します。

江戸時代から終戦直後頃までの氷見地区は、石鎚山のお山市（お山開き）の登山者や旧金毘羅街道を通る参拝者の列が町の通りを行き来する、人の往来の多い大変栄えた地域でした。参道に沿って形成された町には、背後の山から木材や鉱山等の山の産物が集まり、それらを扱う木材問屋の他、呉服屋や飲食店など多くの店が建ち並んでおり、町の北側付近には中山川の川港があったとされ、他地方からの産物や生活物資も手に入れやすく、氷見地区が近隣地域の経済的中心となっていた時代もあったと考えられます。

時代は移り、戦後の近代化は背後の山との交流を途絶えさせ、今では昔日の面影はほとんど消えてしまいました。ですが、氷見乙、氷見丙の境界付近には入母屋作りの建物や塀を巡らせた敷地の広い邸宅等、古風な町並みが残っており、古い伝統的な街並みが話題に上がることの少ない東予地方にあって、非常に珍しいものとなっています。

当地区でも少子高齢化や混住化などの社会情勢の変化に伴い、住民の結束力も少しずつ崩れをみせ、集落が担ってきた機能も年々低下しつつあります。しかし、時代は変わっても伝統行事である石岡神社のだんじり祭りや、西部運動公園にて開催している地区対抗の盆野球大会等は、その時代時代の住民によって受け継がれ今なお盛んであり、住民が主体となって地域の伝統を大切に守り継いでいます。

氷見支部

支部長 丹 勝敬



氷見支部は、連合自治会、民生・児童委員、長友会、公民館長、支部評議員、学識経験者等で役員を構成し、各自治会より評議員を選出頂き運営を行っています。皆様方には氷見支部の事業運営に対しまして格別のご協力を賜っておりますことに心より厚く御礼申し上げます。

平成23年3月に発生した東日本大震災や竜巻等の自然災害の発生により、多くの生命と穏やかな生活の営みが奪われ、今なお沢山の方々が困難な生活を強いられています。また少子高齢社会、核家族化等が急速に進行し、家族関係や地域社会における繋がりが薄れ社会での孤立感が深まる中で、将来への不安や様々な生活課題、福祉課題を抱える人々も増加しています。

この様な状況にあって、社会保障、社会福祉制度の充実と併せ、地域住民と様々な機関、団体等が連携し、地域社会の絆を深め支え合う仕組み作りや見守りネットワークの構築が求められており、課題を抱える人々を支え励まし、身近できめ細かな相談支援を行える社協の役割は、ますます重要なものになってきていると感じております。当支部につきましても各種団体と円滑な連携を図りながら、地域の方からより愛される西条市社会福祉協議会氷見支部を目指して努力していきたく思います。

27支部位置図



氷見支部

- | | | | |
|------|--------|--------|-------|
| 1 玉津 | 8 橋 | 15 多賀 | 22 丹原 |
| 2 飯岡 | 9 氷見 | 16 壬生川 | 23 徳田 |
| 3 西条 | 10 加茂 | 17 国安 | 24 田野 |
| 4 神拝 | 11 大保木 | 18 吉岡 | 25 中川 |
| 5 大町 | 12 市之川 | 19 三芳 | 26 小松 |
| 6 神戸 | 13 周布 | 20 楠河 | 27 石根 |
| 7 禎瑞 | 14 吉井 | 21 庄内 | |

※ 紹介済の支部は青色で表記しています。

氷見地区はこんなところ



■基本情報（平成24年6月末現在）

人口 : 4,249人
世帯数 : 1,848世帯
自治会数 : 31
施設等 : 氷見小学校、西条西中学校、ひまわり幼稚園、ひかり保育園、氷見公民館、西部地域交流センター、西部運動公園・体育館、西部児童館、氷見駐在所、西条氷見郵便局、JR伊予氷見駅、氷見交友会館 等



■名所等

吉祥寺、覚法寺、林昌寺、切川寺、石岡神社、高尾神社、芝井の泉、岡林墓地、石岡古墳群、森邸（住吉屋）、高橋邸（大庄屋）、高尾神社・里城・丸山砦（古戦場跡） 等

■地場産業

農業（米、柑橘 等）、酒造 等

■伝統・行事等

西条祭り（石岡神社祭礼）、高尾神社春祭り、氷見盆野球大会 おたのもさん、おはんにゃさん、とうどうさん 等



自慢の支部事業

高齢者福祉事業は各支部が特に力を入れて取り組んでいる事業のひとつであり、その内容も敬老の家事業、敬老会の他、友愛訪問や配食サービス等様々です。

今回は氷見支部の高齢者福祉事業「ミニデイサービスかよう会」を紹介します。

- 1 事業名 ミニデイサービスかよう会
- 2 目的 独居高齢者、高齢者世帯の孤立と閉じこもり防止
- 3 対象者 65歳以上の独居高齢者、高齢者のみ世帯
- 4 事業内容 血圧測定、講話、歌・コーラス（童謡・ナツメロ・ボケない小唄、ボケます小唄）
手足の運動、ワナゲ、お手玉遊び 等
(8、9月を除く毎月1回開催、内容は月により変更)

氷見支部がもっとも力を入れ取り組んでいる事業のひとつが、高齢者福祉事業である「ミニデイサービスかよう会」です。

地域で生活する高齢者の中には、ボランティアやサークル活動等、自分の生きがいとなる趣味や楽しみを見つけ、活発的に活動をされている方もおられますが、その一方で一日のほとんどを自宅内で過ごし、地域や人との交流がほとんどなくなってしまった方もおられます。そういった家に閉じこもりがちな高齢者の方やひとり暮らしをされている高齢者の方々に対して、人との交流の場を提供し、地域参加へのきっかけにさせていただければと、8、9月を除く毎月氷見公民館にて「ミニデイサービスかよう会」を開催しています。

(8、9月は敬老の家事業、敬老会を実施)

世話人は支部社協役員、民生・児童委員がボランティアとして行っており、内容も参加していただいている方に楽しんでいただけるよう、コーラスやレクリエーション、ゲーム等の他に、七夕等の季節ならではの内容を取り入れたりと毎回変更しています。季節ならではの活動は特に皆さんからご好評を博しておりますが、その中でも春や秋に行っているお弁当を持っての外出（花見・紅葉狩り）は、普段遠出をする機会の少ない参加者の方を含め、皆さん大変喜ばれており、そういった皆さんの楽しまれている姿を見るのが私たちの楽しみにもなっています。

参加者数は毎月20名程度と敬老の家事業や敬老会に比べると少ないですが、参加されている方の中には遠方の自宅より毎月タクシーで公民館まで来られている方もおり、月に1回の交流を皆さん楽しみにされています。

今後は当事業や敬老の家事業等を継続して実施していく中で、今まで参加したことのない方への案内や周知を広く行い、より多くの方に人との交流や地域に出ることの楽しさを見つけていただくことで、自分たちの暮らす氷見地域をもっと好きになっていただけたらと思います。

～活動の様子（7月：七夕飾り作り）～



ミニデイサービスかよう会 スケジュール（例）

9：30～	受付、血圧測定
10：00～	開会、準備運動
10：15～	歌、コーラス
12：00～	昼食
13：00～	レクリエーション、 ゲーム
15：00	閉会

社協からのお知らせ

～敬老の家事業について～

各支部にて実施していただいております敬老の家事業についてですが、前期（4月～9月末日）実施分につきましては9月末日が申請書提出期限となっております。

また、申請書提出の際には、参加者名簿（参加高齢者と協力者）と当日の内容のわかるプログラム等も添付していただきますようお願いいたします。

ご不明な点は地域福祉課（担当：宇野、飯尾）までお問い合わせください。

～共同募金委員会からのお願い～

第66回共同募金運動が10月1日から12月31日の期間行われます。

共同募金は社会福祉団体や施設からの申請を受け配分先を予定し、目標額を定めたくて行う計画募金で、社会福祉事業・地域福祉推進事業を力強く支えています。

共同募金で地域の福祉を充実させるため積極的な取り組みをお願いいたします。